



専守防衛から

敵基地攻撃能力獲得へ

自民党はイージスアショアの配備ができなくなったと見るや、河野防衛大臣はすでに6隻あるイージス艦を8隻に増強する予定を、さらに12隻まで増やす案もあるなどとしてあくまでアメリカからの購入を維持しようとしています。ところが自民党はさらに進んで「敵基地攻撃能力」を持つべきだと言いつつ出しています



過去にも1956年、鳩山一郎首相は、「座して自滅を待つべしというのが憲法の趣旨だとは考えられない」として、日本への攻撃を防ぐのに「他に手段がない場合に限り、敵のミサイル基地をたたくことは「法理的には自衛の範囲に含まれる」との見解を示しており、現在まで一つのベースになっています。ところが今回は相手が「攻撃に着手した」ことが分かれば攻撃しても自衛の範囲だなどと言うのです。

AERAで元政府官僚の古賀茂明氏は「実行不可能な愚策だ」と次のように言います。

「攻撃に着手というがミサイルをいつ発射するかなどわからない。間違っただけに攻撃すればこちらが国際法違反になる。またやるときはすべての拠点を同時に潰す必要があるが、それは不可能だ。安倍首相自身が北朝鮮は日本に向けて数百基のミサイルを準備していると言っている」。

このように北朝鮮や中国のミサイルの能力が高まっているのを理由に敵基地を叩けという議論はあまりに単純な論理であり、戦争をあおるのは挑発的で危険です。

そもそもイージスアショアを断念した理由そのものがあまりにもお粗末で、背景に何があったか明らかにされておらず、与党内からも説明を求める声が出ています。

「敵基地攻撃論」は専守防衛をかなぐり捨てて明らかに先制攻撃を肯定するもので、国内外の批判は必至です。

そこでこの批判をかわすために「先制攻撃と区別」するためとして「自衛反撃能力」と呼ぼうなどと言う案が出てると伝えられています。お得意のネーミングでごまかそうという姑息なやり方です。軍隊と言わずに自衛隊と呼び、軍事と言わずに防衛と言い、部隊も武器も位階も読み替えて来た延長です。しかしあまりにも露骨なゴマカシが通用するような時代ではありません。

木更津にオスプレイ

陸上自衛隊輸送機オスプレイが7月10日に一機目、16日に2機目が陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）に到着配備されました。1、2カ月の点検を経て飛行することになる予定。木更津は「暫定配備」の名目で、期間を5年以内としています。永続的になることを地元は危惧しています。この駐屯地は米軍オスプレイの整備拠点にもなっているので、米軍機を7機、陸自機を3機、同時に整備する能力を備えるため、駐屯地に格納庫を建設するとも伝えられています。整備拠点ですから、試験飛行なども絶えず行われることになり、ただでさえ事故の多いこの機種が常時上空を飛ぶことになりかねません。

Goto どこへ？

行くえも知らずに出発 前代未聞の政策

どこへ行けるのか？事業者はどこか？割引効くのか？何も決まらないまま出発。コロナで怯える国民より、金の方が大事。経済優先のはずが経済混乱。とにかく連休前に決めたいというだけ。担当は与党公明党の唯一の閣僚赤羽国土交通大臣。菅官房長官は経済を重視する立場から東京も予定通り「Goto」の対象とするよう主張。一方で首都圏一体で扱ってきたため、対象外とする意見も。ただ「強行すると公明党の赤羽氏が矢面に立つことになる。赤羽氏を傷つけてはいけない」ということで、見直しが必要だという空気になった」とある政府高官はいう。お仲間の森田知事の千葉や黒岩知事の神奈川などを外して残ったのが東京。何やら小池VS自民の争いのあおりを庶民が受けているようだ。

安倍・麻生氏改憲に意欲

批判の中の麻生派パーティーで

16日夜、麻生副総理は政治資金パーティを東京都内で開いた。3密を避けて人数を減らしたり、食事をなしにしたりコロナに配慮したというが「国民に外出自粛を言いながらこの時期に」「コロナに乗じて、食事を出さずに金だけ20000円とは」など、党内からも批判。しかし麻生氏は「果たして今の憲法が緊急事態に対応できるのか。政権与党として憲法改正に向けた議論もしっかり行っていくべきではないか」と述べ、改憲の意欲を示した。安倍総理もビデオメッセージで「自民党総裁の任期中に憲法改正を成し遂げていきたい。その決意に変わりはない」と強調した。

「真実が知りたい」と夫人 自殺した赤木さんの裁判始まる

7月15日、国と佐川前理財局長を相手に「真実が知りたい」と赤木さんの妻雅子さんが起こした裁判が始まった。文春オンラインは次のような記事を載せている。

すり切れるほど肌身離さなかった国家公務員倫理カード

裁判2時間前の正午、大阪地裁近くの代理人弁護士の事務所を訪れた雅子さんに、弁護士は1枚の小さなカードを示して告げた。

「このカード、裁判で証拠に出しましょう」



それは国家公務員倫理カード。亡き俊夫さんが常にスケジュール帳に挟んでいた。内容を見て雅子さんはドンと胸を突かれる思いだった。

- ・国民全体の奉仕者であることを自覚し、公正に職務を執行していますか？
- ・職務や地位を私利私欲のために用いていませんか？
- ・国民の疑惑や不信を招くような行為をしていませんか？

「だって、みんながこの通りにしていたら、夫は改ざんなんかしていないし、死ぬこともなかったはずじゃないですか」

総理はいずこ？

安倍総理のモリカケ問題はますます疑惑が深まり、7月15日には改ざんをさせられて自殺した財務省職員赤木俊夫さんの妻雅子さんが訴えた裁判が始まった。逮捕された前法務大臣河井議員夫妻の裁判も始まる。黒川検事の疑惑も追及中だ。そんな中でコロナを巡って対応が迷走。庶民も業者も振り回されている。諸外国ではコロナ問題一つとっても首長が先頭に立っているが、安倍総理は当初専門家会議を矢面に立たせ、その後も厚労省ではなく経済再生担当大臣を前面に立たせて、自らは答弁せず、追及を恐れ早々と国会を閉会し、閉会中審査をしている国会も出席せず、マスコミを恐れて隠れたまま。その裏で金だけは意中の企業や組織に甘い汁を吸わせる工作をしている。国会閉会後は一ヶ月も記者会見もしないでだんまりを続けている。

8.15 敗戦（終戦）記念日に宣伝

安倍内閣による改憲の策動が続く中、コロナ感染予防のため困難もあるけれど、これをさえ悪用して改憲しようという目論見を野放しにはできません。そこで8月15日、宣伝カーを使って市内を回る予定です。移動方式のため詳細な時間や場所は不定ですが、参加できる方は世話人までご連絡ください。

朝鮮戦争70年



今年は1950年の開戦から70年。若い人には朝鮮戦争は遠い過去の話に聞こえるかもしれませんが、戦後の日本の運命を左右し、戦後の日本を歪めた発端がここにあるのです。

日本が敗戦し、日本の占領下にあった朝鮮に、米ソの対立の中で双方が進攻したところから朝鮮の分断国家がはじまりました。この戦争にアメリカは占領下の日本を基地として大軍を送り、その空白を埋めるために日本に警察予備隊（自衛隊の前身）を作らせ、平和憲法を骨抜きにしました。さらにこれに対する反対を抑えるためレッドパージを行い、基本的人権を奪ったばかりでなく、逆に戦犯を釈放し旧勢力を復活させて戦争に協力させたのです。

連合国の名で駐留している日本の基地を使って戦争をすることに、国際的批判が起こると、独立国の形を取らせるため(サフランスコ) 講和条約を締結させ、一部の領土放棄をさせ、同じ時に交渉らしい交渉もないまま強引に日米安保条約に調印させ、米軍の事実上の占領継続を認めさせたのです。これが平和憲法に違反すると裁判を起こすと、東京地裁で米軍基地違憲の判決を最高裁の田中長官と秘密裏に会談して覆すと約束させるという介入まで行いました。司法権まで放棄させられたのです。日本国憲法の3つの柱と言われる平和主義、基本的人権、国民主権はアメリカによって蹂躪され続けてきたのです。その契機が朝鮮戦争であり、この戦争で朝鮮特需と言われる需要によって日本経済はうるおい、高度成長へ向かいました。こうして作られた枠組みは沖縄をはじめ日本国民全体をいまでも苦しめています。戦前・戦中のみならず、戦後の歴史も踏まえて隣国を見ていく必要があるのではないのでしょうか。（石林）

米軍はミサイル防衛よりコロナ防衛を

- ◆在日米軍司令部は21日、日本国内にある米軍の施設別の新型コロナウイルスの感染者数だけをHP上に公表しましたが詳細は秘密です。16日時点で日本国内米軍基地の感染者は140人。うち沖縄県内の施設が123人と88%を占めています。
- ◆沖縄県は25日、米軍普天間などの在日米軍基地で、新たに感染者が64人確認されたと発表。1日当たりの感染者数としては最多で、県内基地の感染者は累計で229人となり、基地内で働く日本人従業員にも感染者が出ています。

毎日数万人もの感染者が出ているアメリカから検疫無しで日本に来る米兵からの感染をしないよう「防衛」することこそ政府の責任ではないのでしょうか。

おおたかの森駅宣伝と署名

8月9日(日) 15:30~16:30

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ  
00130-5-464735 口座名 九条の会・流山